



市の特産品などを配り交通安全を呼び掛けました

帰省中の運転に注意を

市内各地で交通安全啓発活動

夏の交通事故防止県民運動に合わせた呼び掛け活動が8月10日、西根インターチェンジなど市内3カ所で展開されました。

活動には、市交通安全協会や交通安全母の会など関係者ら約60人が参加。参加した会員らは、運転者や同乗者に市の特産品であるリンドウや交通事故防止のチラシなどを配り、「安全運転をお願いします」「熱中症に気を付けて」などと声を掛け、帰省中の交通安全について注意を促しました。



松川一の宮太鼓保存会の迫力ある演奏を披露



約3千発の花火が夏の夜空を彩りました

多発する水害に備える

北上川上流盛岡地区合同水防訓練

北上川上流盛岡地区合同水防訓練が8月25日、松尾総合運動公園で行われました。

当日は、本市のほか、盛岡、雫石、岩手、滝沢、紫波、矢巾の7市町村の水防団員や関係者ら約400人が参加。開会式で田村正彦市長は、「豪雨被害が多発しています。地域住民のため、今後も訓練に励んでください」と、あいさつしました。訓練では、水防団員が土のうの作り方や積み方などの工法を実演し、互いに技術と士気を高め合いました。



水防体制の強化のため工法に注目する水防団員

恒例行事に多くの人出

第8回市夏まつり

第8回市夏まつりが8月15日、松尾総合運動公園で開かれました。

まつりには、親子連れや帰省中の方などが来場。松川一の宮太鼓の演奏が披露されたほか、自由参加のさんさ踊り・盆踊りが行われ、多くの人々が輪をつくり、踊りを楽しみました。日が暮れてからは、創作花火やスターマインなど約3千発の花火が打ち上げられ、花火を見た来場者は、「たまやー」などの歓声を上げ、夏の風物詩を満喫しました。

夏休み利用し職業体験

盛岡商業高校の学生がインターンシップ

盛岡商業高校のインターンシップが8月7、8の両日行われ、同校2年の工藤裕貴君＝松川＝、三浦瑤紀さん＝大石平＝、早坂美咲さん＝両沼＝の3人が、市役所と大更保育所で仕事を体験しました。

7日は広報担当として、平館公民館で行われた「回りとうろうづくり」取材。参加者の真剣な姿を写真に収め、記事を作成しました。また、8日は大更保育所で、園児と触れ合いながら、保育士の仕事を学ぶなど、将来に向けての貴重な体験を積みました。



真剣な表情の子どもをパチリ(早坂美咲さん撮影)



田村正彦市長がリンドウを手渡し特産品を宣伝

自慢の特産品味わって

関東で市の農産物などをPR

8月3日に、東京都千住青果市場やコモディイイダ東川口店での農産物PRイベントに田村正彦市長らが出席し、市場関係者や消費者に市の野菜などの安全性や品質の高さをPRしました。

また、8月3、4の両日、東京都・世田谷区馬事公苑などで「第36回せたがやふるさと区民まつり」が開催されました。会場に設けられたふるさと物産展コーナーでは、市の特産品などの販売が行われ、多くの人々が商品を買って求めていました。

すなっぷギャラリー



大更保育所の園児が春に植えたトウモロコシを収穫しました(8月23日、サラダファーム)



「協働で築く地域づくり講演会」が行われました(8月1日、西根地区市民センター)



第32回東北学童相撲大会に大更小の児童が出場しました(8月18日、松尾相撲場)



寺田小卒の新成人がタイムカプセルを掘り出し、思い出を語り合いました(8月15日、寺田小学校)



市建設協同組合から市夏まつりの協賛金50万円が寄付されました(8月5日、市役所)